



群馬の土地改良

No.241 平成29年1月31日

白根の樹氷

新年のご挨拶

群馬県土地改良事業団体連合会
会長 安楽岡 一雄



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。また、日頃から本会の運営に対しまして、格別のご支援、ご協力を賜り、心から厚く御

礼申し上げます。

初めに、昨年4月に発生しました熊本地震並びに、8月、9月の北海道・東北地方への台風・豪雨により、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。そして、一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

さて、昨年7月に行われました、参議院議員比例代表選挙では、皆さまの力強い支援によりまして、進藤金日子氏が当選となりました。同氏におかれましては、国政において、土地改良事業推進のため、また地方との架け橋のために、大いに手腕を発揮していただければと思います。

また、11月には長野堰用水が世界かんがい施設遺産に登録されました。大変喜ばしく思うとともに、先人

たちの高い知識と土木技術に改めて敬意を表します。

一方、農業・農村では、本格的な人口減少社会の到来により、過疎化、高齢化、担い手不足等による農地の荒廃、農地・農業用水等の管理や営農の継続への影響など多くの課題が山積しております。

このような状況の中で、TPP等国際的に経済連携が進む中で、力強い農業の実現、競争力のある経営体の育成等に取り組むときにあります。

国では、新たな「土地改良長期計画」において、地域政策としての「美しく活力ある農村」、この土台としての「強くてしなやかな農業・農村」を掲げ、各種施策に積極的に取り組んでいるところです。

県では、県内農業を飛躍・発展させるための基本方針として「群馬県農業農村振興計画」を策定し、基本目標に「元気で魅力あふれる農業・農村の実現」を掲げ、また「ぐんま水土里保全プラン2016」におきましては、「地域資源を活かす保全整備と活力ある地域づくり」を基本目標として、各種施策を推進しております。

本会といたしましては、新しい農政の推進、成長産業としての農業の確立に、より大きく寄与できる土地改良事業の推進を、県との連携を図りながら、会員の皆さまとともに全力で取り組んで参りますので、今後におきましても、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年一年が皆様にとりまして、幸多き年でありますことを心よりご祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

群馬県知事 **大澤 正明**

新年明けましておめでとうございます。

群馬県土地改良事業団体連合会の会員の皆さまには、すがすがしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また日頃から本県農業・農村の振興発展はもとより、県政全般にわたり御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

去年は、NHK大河ドラマ「真田丸」が一昨年の「花燃ゆ」に引き続き放送され、本県の魅力を県内外に発信することができました。

スポーツの分野では、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックという世界の大舞台において、本県から出場した多くの選手が素晴らしい活躍をしました。この姿は、3年後の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、子どもたちに夢と希望を与えてくれました。

また豊かな森林や自然に恵まれた群馬県にとって、8月11日が国民の祝日「山の日」としてスタートした記念すべき年でもありました。

さて、今年も、県政の新たな羅針盤である「第15次総合計画」がスタートして2年目を迎えます。人口減少が喫緊の課題として叫ばれる中「人・モノ・情報呼び込む」という新たな発想で、群馬の未来を創生していかなければなりません。

そのために、総合計画に掲げた「人づくり」「安全で安心できる暮らしづくり」「産業活力の向上・社会基盤づくり」の3つの基本目標に基づき、未来を担う子どもたちの学習環境の整備や、人口減少対策のための移住・定住促進、若者や女性、障害のある人など誰もが活躍できる雇用の場の創出、県産農畜産物の輸出促進などを積極的に進めます。

さらに、農業・農村においては、「農業農村振興計画」の基本目標である「元気で魅力あふれる農業・農村の実現」を目指し、各種施策を総合的に展開してまいります。

また広域幹線道路などの道路交通網やコンベンション施設の整備などにより、企業誘致や観光誘客をさらに推進し、県内経済の活性化に努めます。

群馬には、豊かな自然や温泉などの観光資源に加えて、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」や多くの古墳や埴輪など、本県が誇る歴史文化遺産があります。また夏には、古代東国文化を象徴する「上野三碑」のユネスコ「世界の記憶」への登録が期待されます。これらの優れた資源を生かし、群馬の魅力を力強く発信していきたいと思っております。

県政の主役である県民の皆さまが安心して幸せを実感でき、将来にわたって住み続けたいような「魅力あふれる群馬」の実現に向け、全庁一丸となって県政に取り組んでまいります。

結びに、この一年が会員の皆さまにとって健康で幸多い年になりますよう心から祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。

平成29年1月



新年のご挨拶

群馬県農政部長 宮崎 一隆

明けましておめでとうございます。

群馬県土地改良事業団体連合会の会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、平素より本県農政の推進にあたりまして、多大なる御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、農業農村を取り巻く状況は、農業者の減少・高齢化の進行、耕作放棄地の増加などに加え、経済連携によるグローバル化の進展など、大きな転換期を迎えております。

こうした中、本年は、県農政の基本指針である「群馬県農業農村振興計画」の2年目に当たり、目標を達成する上で、重要な年になると考えております。県では、「元気で魅力あふれる農業・農村の実現」に向けて、「力強く成長する農業の実現」、「活力と魅力にあふれる農村の創造」、「安全・安心な食料の生産・確保」の3本を柱とし、引き続き各種施策を総合的に展開して参ります。

なお、昨年9月には、県産農畜産物の認知度向上による販売力強化を図るため、「統一ロゴマーク」を制作いたしました。マークの積極的な活用により、農業者の所得向上・経営安定につなげていきたいと考えておりますので、御協力をお願いいたします。



農業農村整備においては、「地域資源を活かす保全整備と活力ある地域づくり」を目指し、「農業水利施設等の計画的な保全管理」や「農地整備による担い手への農地集積の促進」、「ため池の改修・耐震性調査」を実施し、更には「多面的機能支払交付金などの活用」を支援し、農村地域における「保全整備」と「協働」を積極的に推進して参ります。

これらの施策を地域の実情に即して推進していくためには、会員の皆様方と行政等が連携・協働し、一体となって取り組むことが不可欠でありますので、今後とも、力強い御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様の御健勝と御活躍を心より祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

平成29年1月



新年のご挨拶

群馬県県土整備部長 上原 幸彦

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

群馬県土地改良事業団体連合会会員の皆様には、健やかな新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

平素より県土整備行政、とりわけ農業集落排水事業を始めとする汚水処理事業の推進にあたり多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

県民の生活環境を保全するためには、汚水処理人口普及率の向上が必要であり、引き続き、土地改良事業団体連合会並びに会員の皆様と連携し、下水道や農業集落排水及び合併処理浄化槽など、施設の特性や地域の実情を踏まえた各地域に最も相応しい汚水処理施設の整備に取り組んで参ります。

昨年は、第15次県総合計画のスタートの年として、6月に八ッ場ダムコンクリート打設が始まったことや、7月に東毛広域幹線道路が全線4車線化されたことなど、「魅力あふれる群馬」の実現に向けて、1つ1つ形になっていることを実感しています。

今年は、長年の念願であった国道17号上武道路の全線開通が予定されており、前橋渋川バイパスと一体となり、本県と都心を結ぶ強力なネットワークが生まれることで、商工業をはじめ、農業や観光など、あらゆる分野におけるマーケットの拡大につながるものと期待しております。

県としましても、「7つの交通軸」の整備・強化として、西毛広域幹線道路、上信自動車道をはじめとする主軸の整備とともに、主軸とインターチェンジなどを結ぶ交差道路の整備を、計画的に推進して参ります。

また、災害に強い県土づくりとして、「防災・減災対策」を重点的に推進し、近年、頻発・激甚化する自然災害から、県民の命と暮らしを守るとともに、「安全安心な群馬県」への民間投資の拡大や移住定住の促進、農業の生産性・安定性の向上にもつながって参ります。

結びに、会員の皆様の御健勝と益々の御活躍を祈念いたしまして、新年の挨拶いたします。本年もよろしくお願ひいたします。



新年のご挨拶 本年も「闘う土地改良」で全力

参議院議員 しんどう かねひこ
進藤 金子

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、良き年をお迎えることと、心よりお慶び申し上げます。

私は、皆様のご支援をいただき、現在、参議院議員として国政に参画いたしております。土地改良に関係する方々が心を一つにいただいた昨夏の結果を胸に刻み、今年も皆様のご期待に着実に応えることができるよう努力してまいります。

昨年は、本当に災害の多い年でした。4月の熊本地震被害、8月の北海道・東北を中心とした台風被害などがありました。被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧・復興に全力を尽くしていく必要があります。勿論、東日本大震災や原子力災害への対応についても、引き続きしっかりと対応していくことが重要です。また、気候変動等に起因すると思われる豪雨災害等が頻発していることを踏まえ、防災減災対策の早期かつ着実な実施が喫緊の課題となっており、各地域の実情や特性を踏まえて機動的に対応していく必要があります。

土地改良にとって本年は、制度的にも予算的にも極めて重要な年となります。

まず制度です。第一に昨年8月に閣議決定された土地改良長期計画実動の初年であり、目標達成に向けて確実に所要の成果を確保していく必要があります。第二に昨年11月に改訂された「農林水産業・地域の活力創造プラン」と新たに策定された「農業競争力強化プログラム」に基づき、着実に施策を実施していく必要があります。特に、「農業競争力強化プログラム」は、農業者が自由に経営展開できる環境を整備するとともに、農業者の努力のみでは解決できない構造的な問題を解決するため、13項目にわたる課題に対する取組みの道筋を示し、その実行により農業者の所得向上を図ろうとするものです。土地改良については、土地改良制度の見直しとして、農地中間管理機構が借り入れしている農地について農業者の費用負担や同意を求めない基盤整備事業制度創設の他、国・都道府県営土地改良事業に係る申請人数要件（15人以上）の廃止、突発事故に係る事業やため池等の耐震化事業について原則農業者の費用負担や同意なしに事業実施が可能となる仕組みの創設、一定の機能向上を伴う更新事業について同意徴集手続を簡素化する見直しなどが盛り込まれています。これらは、今後、土地改良法を改正した上で順次実行されていくこととなります。

次に予算です。今年度補正予算で大幅な追加がなされ、更に平成29年度予算政府案においても着実に予算が回復してまいりました。補正予算は、基本的に予算不足による継続地区の工期遅延を正常化する予算であり、当初予算は順番待をしている新規地区の早期の着工と完了に必要な安定的な予算です。

*群馬県の状況

往々にして課題の大きさと重さに伏し目がちになりますが、是非とも頭を上げ、目を見開き、微笑みをもって前に進みましょう。どんな困難も一人でなく皆で立ち向かいましょう。私も、引き続き「闘う土地改良」の先頭に立って全力を尽くし、皆様と一緒に諸課題の解決に向けて専心努力してまいります。今年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

平成28年度 土地改良区等役職員研修会



平成28年11月10日(木)～11日(金)、渋川市伊香保町「ホテル木暮」において、農業農村整備の円滑な推進と土地改良区の運営管理を行う役職員の技術向上を図ることを目的とした「土地改良区等役職員研修会」を開催しました。

栗林副会長による開会の挨拶に続き、関東農政局農村振興部 和山土地改良管理課長、群馬県農政部 片山農村整備課長からご挨拶をいただきました。

研修は下記のとおり行われ、二日間にわたり156名が参加し、熱心に受講されました。

研修内容		講 師	
1日目	土地改良区の運営等について 土地改良区体制基本計画について	関東農政局農村復興部土地改良管理課 関東農政局農村復興部土地改良管理課 団体指導・資金係	課長 和山 輝徳 係長 五味田清之
	ぐんまの農業農村整備の主な取組について	群馬県農政部農村整備課	課長 片山 茂
2日目	多面的機能支払交付金について	群馬県農政部農村整備課	施設保全係 補佐 稲木 一秀
	食品の安全性についてわかりやすくご説明します！	群馬県健康福祉部食品・生活衛生課 農林水産物安全係	主任 桑原 克也

農業農村整備の集い

平成28年11月28日(月)、東京都千代田区「シェーンバッハ・サポー」において、「農業農村整備の集い」一農を守り、地方を創る予算の確保に向けて一が、全国水土里ネット、都道府県水土里ネットの共催により開催されました。

集いは、全国の土地改良区並びに市町村、都道府県水土里ネットから約1,200名余りの参加があり、本県から10名が参加しました。

はじめに、二階全国水土里ネット会長の挨拶があり、山本農林水産大臣をはじめ、西川自民党農林水産戦略調査会長、宮腰自民党食料産業調査会長、今村復興大臣から祝辞をいただいた後、進藤都道府県水土里ネット会長会議顧問より挨拶がありました。

その後、本県の赤城西麓土地改良区 川端様、秋田県の由利本荘市土地改良区 黒木様、熊本県の三角町土地改良区 田尻様より各地の事例発表が行われました。

最後に水土里ネット新潟の渡辺専務理事より要請文案が読み上げられた後、全会一致で採択され、水土里ネット愛媛の三好会長による「ガンパロウ三唱」で閉会しました。

また、本県参加者は、集い開催の前に本県選出国會議員に要請を行いました。



平成28年度「第2回理事会」

平成28年11月24日(木)、本会において、平成28年度「第2回理事会」を開催しました。

安楽岡会長の挨拶に続き、群馬県農政部 片山農村整備課長から来賓挨拶をいただきました。

理事会は、理事11名、監事3名の出席のもと行い、「議案第1号 平成28年度(第2回)収入支出補正予算について」は、原案のとおり議決されました。



平成28年度「第2回監事会及び監査」



平成28年12月22日(木)、本会において、平成28年度「第2回監事会及び監査」を開催しました。

監査では、藤巻代表監事から「調査・確認、協議をした結果、諸帳簿など特に問題はなく、概ね良好と認め、業務執行にあたっては、今後とも細心の注意を払うとともに、受託収入の確保が連合会にとって重要だと思うので引き続き頑張ってください。」との監査結果報告がありました。

長野堰用水 世界かんがい施設遺産 登録決定

平成28年11月8日、国際かんがい排水委員会 (ICID) は、タイ王国で開催された第67回ICID国際執行理事会において、日本国内では長野堰用水を含む14施設を、平成28年度世界かんがい施設遺産に登録したことが発表されました。

群馬県では、甘楽町の雄川堰に続き2例目の登録です。

世界かんがい施設遺産は、かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解を図るとともに、かんがい施設の適切な保全に資するために、歴史的なかんがい施設を国際かんがい排水委員会が認定・登録する制度です。



〈登録証〉

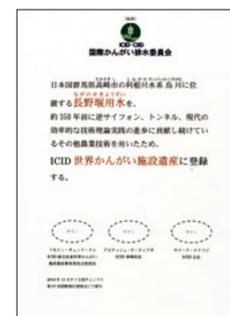
〈構〉



1645年(正保2年)正保国絵図
〈国立国会図書館所蔵〉



1814年(文化11年)以降の
西新波堰分水絵図
〈高崎市市史編纂室所蔵〉



〈和訳〉



〈和訳〉

◇長野堰土地改良区ホームページ
<http://naganoseki.or.jp/>

1月以降の予定

開催日時	主催者名	行事名	開催場所
1月25日	群馬県水土里保全協議会	ぐんま水土里保全プラン2016推進事例発表会	群馬会館
2月1日	本会	農業農村整備部会及び講演会	群馬建設会館
2月17日	本会	第3回理事会	本会
3月17日	本会	第60回通常総会並びに第51回土地改良功労者等表彰式	群馬建設会館
3月24日	全国土地改良事業団体連合会	第58回通常総会・全国水土里ネット表彰式	砂防会館

～東部事業所 移転のお知らせ～

平成29年2月1日から、東部事業所の移転に伴い、住所及び電話番号等が下記のとおり変更されます。

【新住所】

〒370-0392

太田市新田金井町29（新田庁舎内）

【新電話番号】

TEL 0276-55-6185

FAX 0276-55-6186



◆編集後記

2017年のNHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」

ドラマの主人公である直虎が大切に守り育てた子、直政（徳川四天王の一人）は、高崎藩の初代藩主をつとめ、高崎市発展の基礎を築いた人物であるそうです。

これで「花燃ゆ」「真田丸」に続いて3年連続、群馬県にゆかりがある作品が放送されています。

群馬県の知名度が上がり、去年の都道府県別魅力度ランキング45位からランクアップすることを期待しましょう。

（企画委員会・作業部会）

水土里ネット 群馬

群馬県土地改良事業団体連合会
URL: <http://www.kakasi.or.jp/>

本所	〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4 TEL 027-251-4105 fax 027-251-4139
中西部事業所	〒371-0844 群馬県前橋市古市町二丁目6番地4 TEL 027-251-4106 fax 027-251-4222
利根・吾妻事業所	〒378-0031 群馬県沼田市薄根町3507-1 TEL 0278-23-2161 fax 0278-23-2180
東部事業所	〒370-0392 群馬県太田市新田金井町29 （新田庁舎内） TEL 0276-55-6185 fax 0276-55-6186



夢ふくらまそう・未来はぐくもう
ぐんまの農業農村整備